

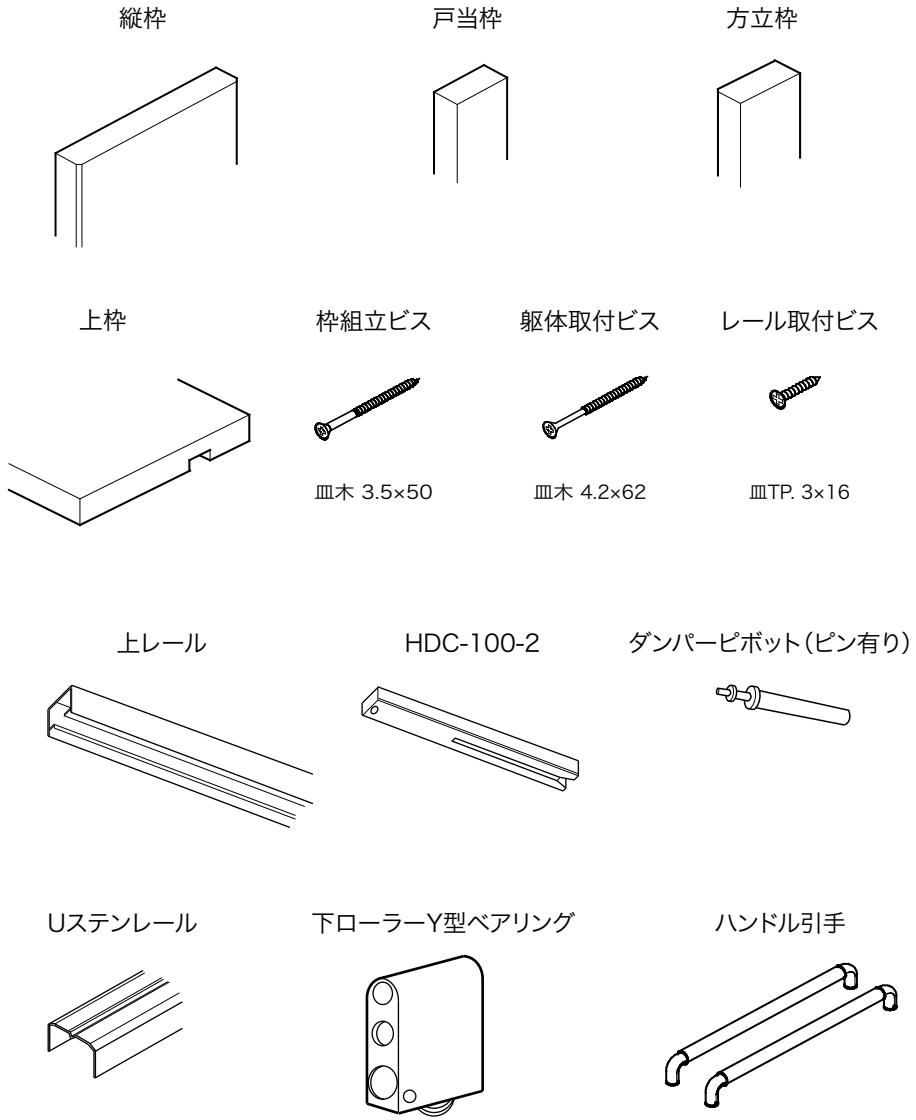
ハートフル  
スライドドアYレール (片引インセットタイプ)

このたびは、AK製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

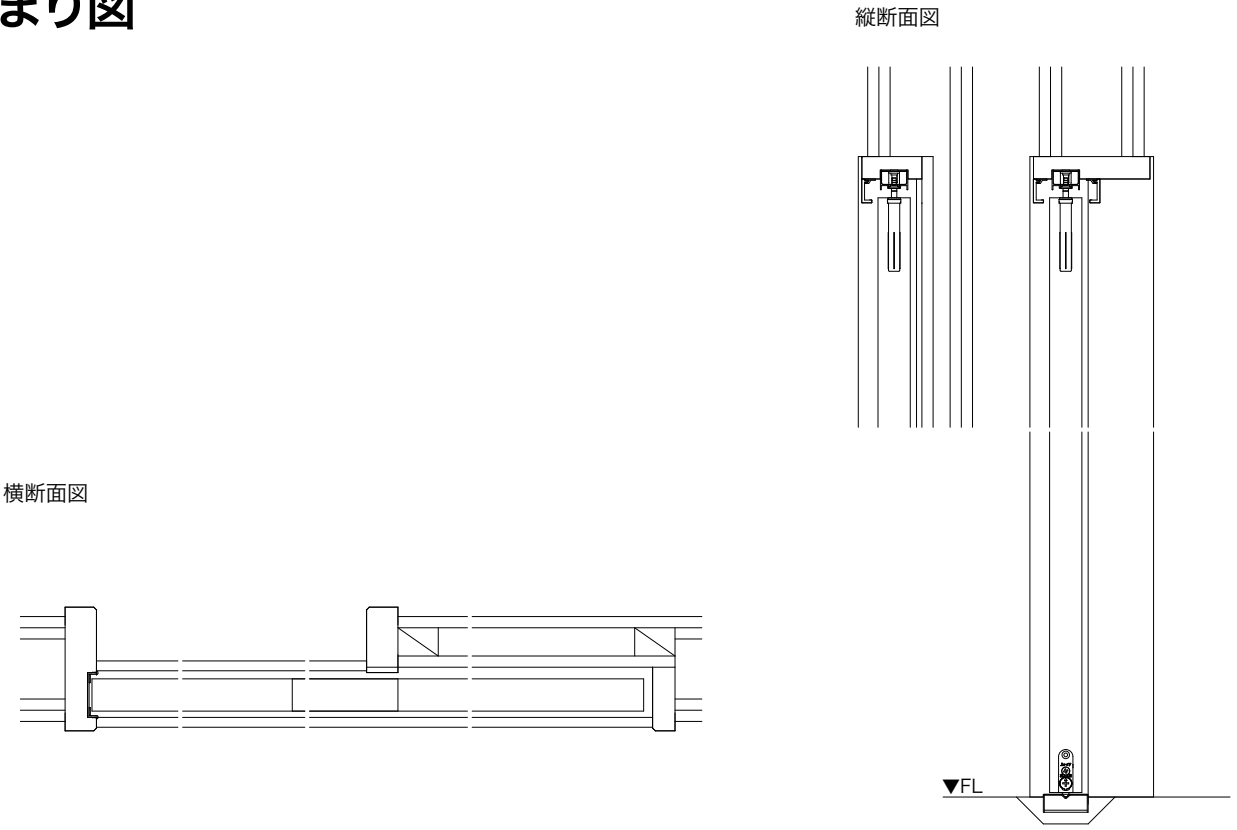
⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1m以上離して作業してください。

	部品名
枠	縦枠
	戸当枠
	方立枠
	上枠
	枠組立ビス 3.5×50
	躯体取付ビス 4.2×62
	レール取付ビス 3×16
	上レール
	HDC-100-2
	ダンパーピボット(ピン有り)
	Uステンレール
扉	扉本体
	ハンドル引手



納まり図

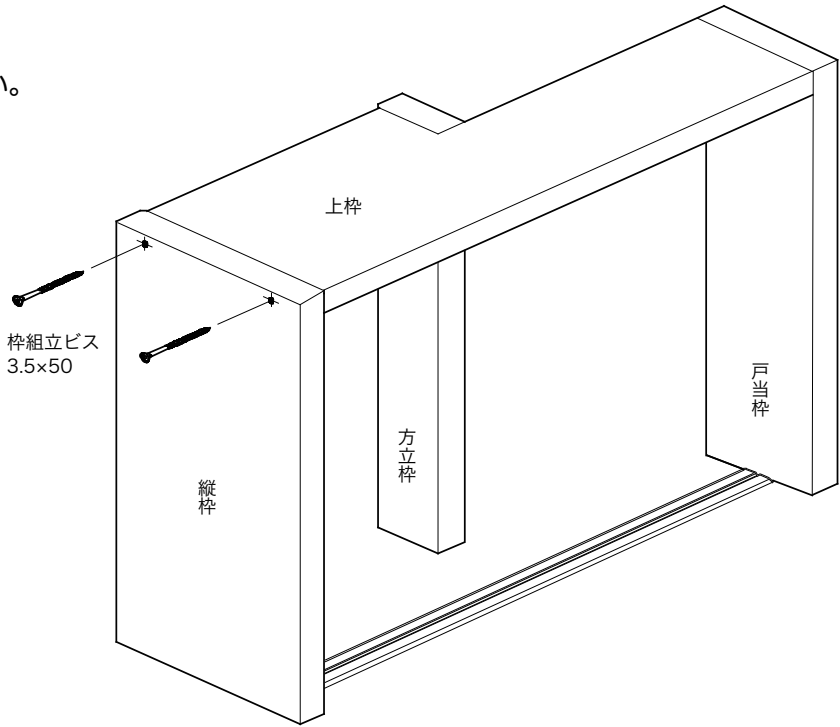


取付け順

1. 枠の組立て・取付け

- ① 枠組立ビスで枠を組み立ててください。  
枠にはビスのリード穴があります。
- ② 躯体取付ビスで枠を躯体に固定してください。

**注意** 垂直・水平を必ず確認し、ねじれ・傾き・変形などないように施工してください。



## 2. 部品の取付け

### 《枠部品の取付け》

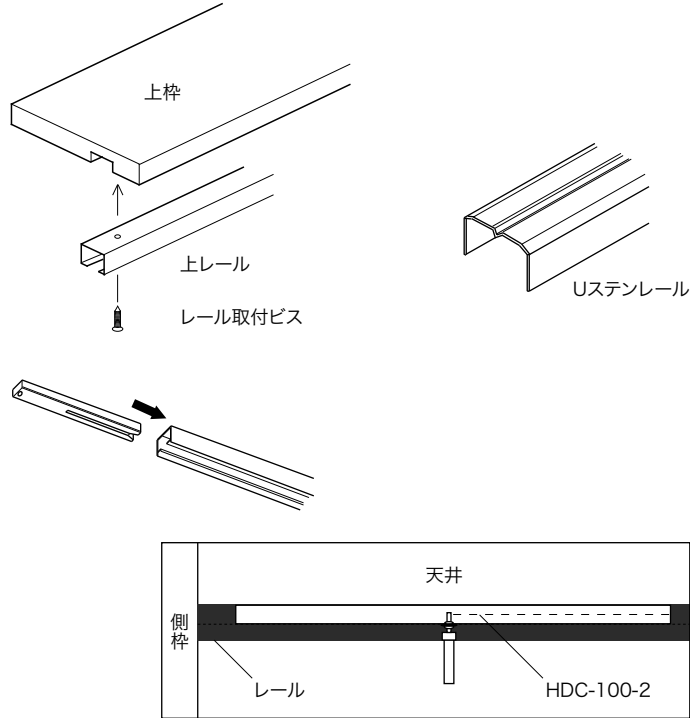
- ①上レールをレール取付ビスで上枠に取り付けてください。

**注意** 扉の荷重でレールがはずれないよう、しっかり固定してください。

- ②Uステンレールを取り付けてください。

- ③上レールにHDC-100-2を入れ、図のように位置決めし、ビスで仮固定してください。

**注意** HDC-100-2の向きに注意してください。

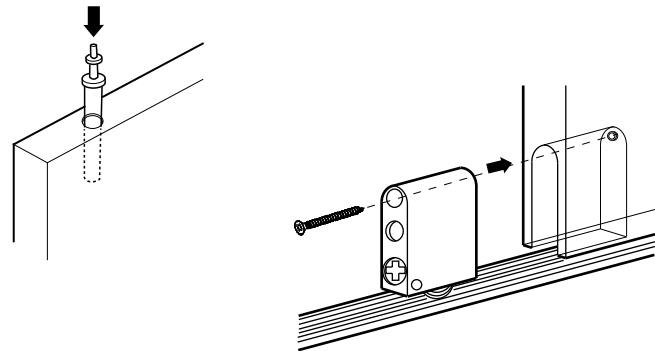


### 《金具の取付け》

- ①ダンパーピボットを扉の上両端の穴に打ち込んで取り付けてください。

**注意** ピボットを打ち込むときは、ツバ部に打ち込み用スペーサーをご使用ください。

- ②下ローラーを、扉の下両端の穴に合わせ、ネジで固定してください。



## 3. 扉の吊込み

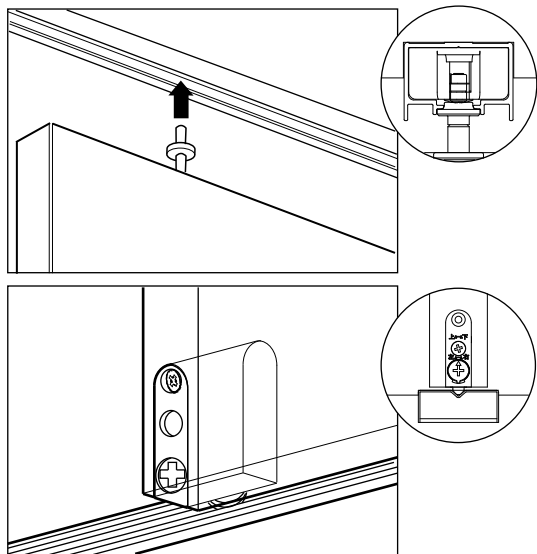
### 《吊込み》

- ①間口に合わせて上レールとUステンレールを固定してください。

- ②扉上に取り付けた上ガイドを上レールに合わせ、扉下両端に取り付けたローラーをUステンレールに這わせてください。

- ③扉を上を持ち上げて、上ガイドの軸をへこませ下ローラーを入れてください。

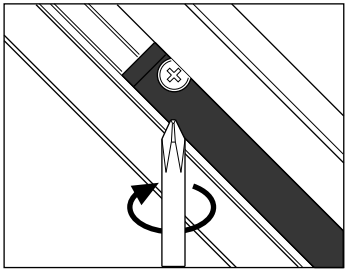
※必ず強度のある梁から吊束、または吊ボルトで補強してください（補強の材料は現場にて調達してください）。



## 4. 建付け調整

### 《HDC-100-2の固定》

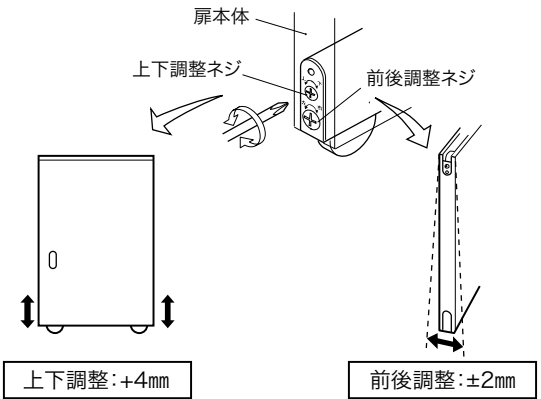
- ①HDC-100-2を固定してください。  
扉の開閉の際にずれたりしないようしっかり固定してください。



### 《下ローラーの調整》

- ①ドライバーで下ローラーの調整を行ってください。

※下ローラーの高さ調整ネジで上下調整ができます。  
下ローラーの前後調整ネジで扉の下部が前後に移動します。



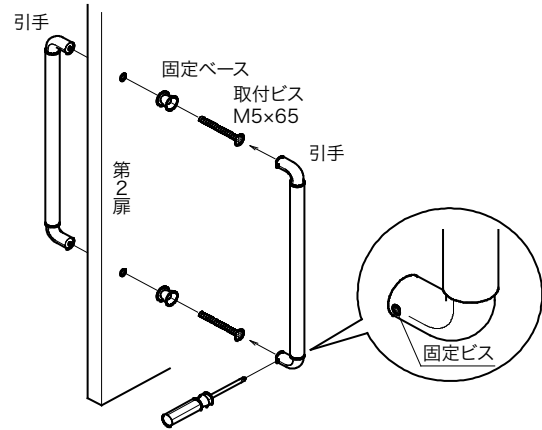
## 5. 部品の取付け

### 《引手の取付け》

- ①扉にハンドル引手を取り付けます。

- ②取付けビスを固定ベースに挿入し、扉のリード穴から片側の引手をビス止めしてください。

- ③もう片方の引手を固定ベースにはめ込み、引手の側面にある固定ビスを回して固定してください。



## 施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタつきがないか確認してください。
- ◆扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

#### <お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

#### <使用上のご注意>

- 扉の近くでストーブなどのご使用はお避けください（扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります）。
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。